

第5章 医療提供体制の構築

【第1節】 疾病又は事業ごとの医療連携体制の構築

1. がん

「がん」の概要

■ 現状と課題

《現状》

- 本県の死亡原因の第1位。
- 75歳未満年齢調整死亡率は、減少傾向だが、全国値と比べて高い。
- がん検診受診率は、増加傾向だが、全国値と比べて低い。
- がん拠点病院やがん推進病院を中心に、がん医療の均てん化を推進。

《課題》

①がんによる死亡者の減少

②科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

③患者本位で持続可能ながん医療の提供

④がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

■ 圏域設定

6圏域：【和歌山・有田】、那賀、橋本、御坊、田辺、新宮

■ 主な施策の方向

①がんによる死亡者の減少

- 予防、医療、がんと共生等、総合的ながん対策を推進

②科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

- 生活習慣の改善を促進（食、運動、喫煙等）
- がん検診の受診率の向上、精度管理による質の向上

③患者本位で持続可能ながん医療の提供

- がん診療の充実や、チーム医療及び医療連携の推進
- がん医療従事者の人材育成
- がんと診断された時からの緩和ケアの推進

④がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

- 相談支援の体制整備
- セカンド・オピニオンの普及

■ 主な数値目標（令和11年度）

①がんの死亡者減少
75歳未満年齢調整死亡率
(人口10万対)
令和3年 68.6
→ 58.3

②がん予防
がん検診受診率(肺)
令和4年 46.5%
→ 70.0%

③がん医療
チーム医療を提供できるがん医療圏
令和5年度
全てのがん医療圏
→全てのがん医療圏

④がんと共生
セカンド・オピニオンを内容まで知っている県民の割合
令和5年度 47.1%
→ 80.0%

(2) 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

- 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実を図り、がんの罹患率及び死亡率の減少を目指します。
- 「和歌山県健康増進計画」に基づき、喫煙を含めた生活習慣の改善、がん予防についての啓発に努めます。
- 定期的ながん検診受診の重要性に関する啓発を行い、各部位におけるがん検診受診率について、「和歌山県がん対策推進計画」において設定された目標値の達成と、精密検査の受診率向上に努めます。
- 「和歌山県生活習慣病検診等管理指導協議会」において、各部位のがん検診の精度管理等を行います。

(3) 患者本位で持続可能ながん医療の提供

- 手術療法、放射線療法、薬物療法等の充実と全ての拠点病院と推進病院におけるチーム医療の体制を維持するとともに、医科歯科連携など地域での各種がん治療に関する医療連携を推進します。
- がん医療を担う専門の医療従事者を育成し、がん医療の質の向上を目指します。
- がん先進医療支援事業について、医療従事者や県民に対して制度の周知を図るとともに、先進的な放射線療法の理解を促進していきます。
- がん診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得するため、緩和ケア研修会を開催します。
- 緩和ケアについて、正しい知識の普及啓発を実施します。

(4) がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

- セカンド・オピニオンをいつでも適切に受けられる体制を整備するとともに、セカンド・オピニオンについて県民への更なる周知を進め、患者自らが治療法を選択できる環境を整えます。

数値目標の設定と考え方

(1) がんによる死亡者の減少

項目	現状	目標(令和11年度)	設定の考え方
75歳未満年齢調整死亡率	68.6 (人口10万対) (令和3年)	58.3 (人口10万対)	第4次県がん対策推進計画の目標値

(2) 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

項目	現状	目標(令和11年度)	設定の考え方
年齢調整罹患率	398.8 (人口10万対) (令和元年)	減少	第4次県がん対策推進計画の目標値
喫煙率	男性 23.7% 女性 6.4% (令和4年)	男性 18.9% 女性 3.5% (令和17年度)	第4次県がん対策推進計画の目標値

項目	現状	目標(令和11年度)	設定の考え方
がん検診受診率 (現状:令和4年)			
胃がん	47.5%	70%	第4次県がん対策推進計画の目標値
肺がん	46.5%	70%	
大腸がん	40.6%	70%	
子宮頸がん	38.7%	70%	
乳がん	39.5%	70%	
精密検査受診率 (現状:令和2年度)			
胃がん(X線)	74.5%	90%	第4次県がん対策推進計画の目標値
胃がん(内視鏡)	95.2%	90%	
肺がん	82.3%	90%	
大腸がん	67.7%	90%	
子宮頸がん	82.7%	90%	
乳がん	88.6%	90%	

(3) 患者本位で持続可能ながん医療の提供

項目	現状	目標(令和11年度)	設定の考え方
チーム医療を提供するがん医療圏	全ての がん医療圏 (令和5年度)	全ての がん医療圏	第4次県がん対策推進計画の目標値
緩和ケア研修会修了者数	2,866人 (令和4年度)	3,800人	第4次県がん対策推進計画の目標値

(4) がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

項目	現状	目標(令和11年度)	設定の考え方
「セカンド・オピニオン」を内容まで知っている県民の割合	47.1% (令和5年度)	80%	第4次県がん対策推進計画の目標値

目標設定における第七次計画からの変更点

- がんによる死亡者の減少を目指し、新たにがんの罹患率の減少を目標に設定します。
- がん医療圏ごとに医療の均てん化を推進するため、チーム医療の提供に関する目標を、病院数から提供できるがん医療圏に変更します。

■用語の説明

※1 国又は県指定のがん医療の拠点となる病院

国が指定する「都道府県がん診療連携拠点病院」、「地域がん診療連携拠点病院」若しくは「地域がん診療病院」又は県が指定する「和歌山県がん診療連携推進病院」